

きらめき朝日

令和6年11月18日号

校長 横井 真人



生徒会の2大行事が終了しました!

◇□躍動した、楽しんだ、1つになった、体育祭◇□

10月6日(日)に開催することができました。当日は、天候に恵まれ、爽やかな秋晴れの中での体育祭となりました。多くのご来賓と保護者の方のご来校を得て、実施することができたことに深く感謝申し上げます。

昨年の反省をもとに、生徒の皆さんの安全を第一に考えて、屋外での練習が可能な時期かどうか、体育祭そのものが開催可能かどうかを十分考慮した結果、この時期での開催としました。今年度から単学級の学年となり、競技をどうするか、応援をどうするかも頭を悩ませたことの1つです。体育祭の実行委員会で生徒も教師も十分話し合った上での体育祭の内容となりました。今後少子化が続く中で持続可能なものにするためには、簡単に「昨年と同じ」にはできません。毎年状況の中で工夫を凝らしながら、やりがいのある体育祭に毎年育てていこう、そんな想いを確かめた1日となりました。

準備期間も、2週間前には新人戦もあり、実行委員会や応援団幹部の皆さんも大変になりましたが、気持ちを切らすことなく体育祭前日までしっかりと準備をすることができたことは素晴らしいと思います。

体育祭当日は、応援団幹部を中心に自軍の勝利を目指して必死に競技し、応援する姿、そして、競技終了後に両軍が互いに頑張りを讃え合う姿は青春そのものでした。一人ひとりが成長を実感することができた体育祭になりました。



文化祭と町芸文祭のコラボ!

◇□◇□文化を満喫した秋の1日、文化祭◇□◇□

11月3日(日)朝日中文化祭と朝日町芸術文化祭を創遊館で合同開催しました。

開催に当たっては3つの教育的な「柱」を掲げましたが、どの柱も十分な結果であったと思います。初めての開催ですので、今までと違うところや、創遊館を使うことで様々な配慮が必要なことも勉強になりました。様々な方々からいろいろなお声がけをいただき、また感想のアンケートにも持続可能にするための建設的な意見をいただいて、励みになったり、反省したりしているところです。それでも生徒の皆さんが、楽しく町の文化を満喫できたことは大きな収穫でした。また、卒業生の皆様と最後に合唱した校歌も感無量でした。この場をお借りして、この文化祭の実現にご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げたいと思います。

あらためて申し上げますと、朝日中の学校教育目標は「ふるさとを愛し 幸求め 直向きに生き抜く 朝日生」です。今年は、「ふるさとを愛し」の部分に特に注目して、いろいろなところで「ふるさと」という言葉を意識して多用しています。自分たちの「ふるさと」の良さを知り、よいイメージを持てれば、誇りを持つことにつながり、それが「ふるさとを愛する」ことにつながるのでは、と感じています。わたしたち朝日中職員は自分たちができることを、こつこつと積み上げていきたいと思えます。

